

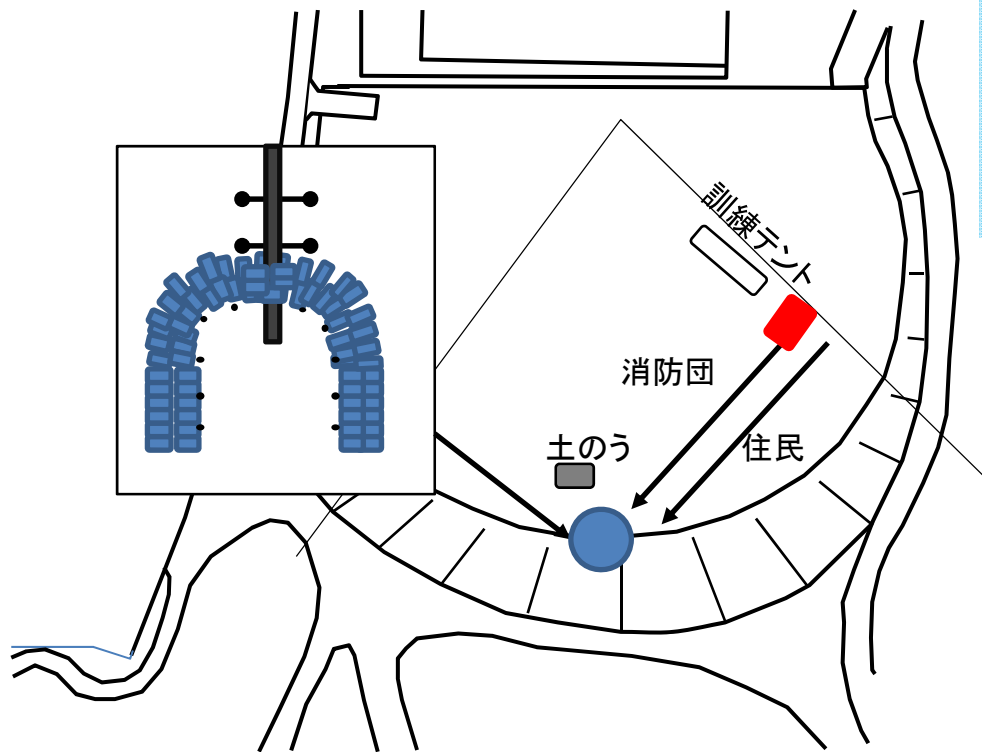
平成28年度取組事例【阿南市】 関係機関が連携した水防訓練の実施

■ 取組

自主防災組織等の水防活動への参画を促進し、関係機関が連携した水防訓練の実施

消防署員の指導の下、主に消防団員は杭、パイプの取り付けを、住民は土のうの積み上げを実施した。

南部健康運動公園内、円形多目的広場の傾斜を利用した。



平成28年度阿南市総合防災訓練を阿南市桑野地区を対象に実施した。訓練の1つとして豪雨により桑野川が増水している中、南海トラフ地震が発生し、複合的な影響で堤防に漏水が発生したとの想定で漏水対策訓練（月輪工）を実施した。桑野消防分団10名に加え、川沿い住民20名が参加した。時間の制約もあり、簡易的な月輪工とした。完成後、消防署員が参加者に月輪工作成の目的、原理、留意点、効果等についてマイクで説明した。29年度以降も水防に関する訓練課目を計画し、住民の水防に対する意識向上を目指します。

訓練状況(28. 10. 30)



平成28年度取組事例【小松島市】

住民が避難行動を行うための出前講座の実施

■ 取組

地域の寄り合い、各種団体の研修会、小中学校等における水防災意識社会再構築ビジョンに関する教育・訓練を実施

☆小松島市自主防災連合会の皆様と防災講座☆
「那賀川における防災対応等について」

那賀川河川事務所では、「小松島市自主防災連合会総会」の場にお邪魔して、11月24日(木)「那賀川における防災対応等について」出前講座を実施しました。



最初に那賀川流域の地形や気象について説明。那賀川下流部の地形から、一旦氾濫が起きると流域外の小松島市まで浸水することなど、改めて納得されたよう。

次に、本年5月に公表された、那賀川の浸水想定区域図について。想定最大降雨による小松島市での浸水予測に関して、皆さんメモを取りながら熱心に聞いておられました。

最後に、昨年の関東・東北豪雨を受けて始まった「水防災意識社会 再構築ビジョン」。住民自ら主体的に避難する「住民目線のソフト対策」や、氾濫が発生しても被害を軽減する「危機管理型ハード対策」などの取組をご紹介。皆さん自主防災組織に持帰るべく熱心にご質問。今後の皆様の活動の一助になればと願いながら講座を終わりました。

自主防災組織に対し、出前講座を利用し水防災意識社会再構築ビジョン、各種取組について、周知を行った



H28.11.24 自主防災連合会総会における出前講座の様子

平成28年度取組事例【那賀町】 防災行政無線施設(同報系)デジタル化整備工事〈H28・29年度〉

■ 取組

防災行政無線、登録制メール、web、災害時情報共有システム、ケーブルテレビ自主放送チャンネル等の活用



住民への洪水情報や避難情報をリアルタイムで確実に伝達するため、従来のCATV文字放送, CATV宅内音声告知, CATV河川監視カメラ, 緊急速報メール, 登録メールに加え、防災行政無線のデジタル化に伴いクリアな音声で告知する屋外スピーカの刷新, スマートフォン等を活用したリアルタイムの防災情報を文字で直接個人へ伝達できる「防災アプリ」の開発（運用開始は29年度）



平成28年度取組事例【徳島県】 要配慮者利用施設の避難確保計画作成への支援について

■ 取組

要配慮者利用施設における避難確保計画の作成・支援及び訓練の実施

徳島県ホームページ



- 平成28年12月から平成29年1月にかけて要配慮者利用施設の管理者に対する説明会を県内各地で開催し、水防情報や避難計画作成について説明を行いました。
- 徳島県ホームページで「要配慮者利用施設の避難計画作成の手引き」を公開しました
- 河川整備課内に避難計画作成に係る相談窓口を設置しました。

要配慮者利用施設の管理者に対する説明会



平成28年度取組事例【徳島地方気象台】

29年度からの気象庁ホームページ公開に先駆けて28年度から防災情報提供システムで公開を実施
 ・大雨等の危険度を時系列で視覚的に分かりやすく表示します ～危険度を色分けした時系列～

イメージ

平成〇〇年〇〇月10日 16時30分 〇〇地方気象台発表
 〇〇県の注意警戒事項
 〇〇県では、土砂災害や低い土地の浸水、河川の増水、落雷に注意してください。

〇〇町
 [発表] 大雨, 洪水注意報
 [継続] 雷注意報
 特記事項 土砂災害注意 浸水注意
 1 1日明け方までに大雨警報(浸水害)に切り替える可能性が高い
 1 1日明け方までに洪水警報に切り替える可能性が高い

時系列で危険度を色分けした分かりやすい表示で提供
 どの程度の強度(危険度)の現象が、どのくらい先の時間帯(切迫度)に発現すると予想されているのかを、視覚的に把握しやすい形で伝えます。

〇〇町	発表中の警報・注意報等の種別	今後の推移(■特別警報級 ■警報級 ■注意報級)									備考・関連する現象
		10日			11日						
		15-18	18-21	21-24	0-3	3-6	6-9	9-12	12-15	15-18	
大雨	(土砂災害)										以後も注意報級 土砂災害注意
	(浸水害) 1時間最大雨量(mm)	30	50	50	50	60	60	40			浸水注意
洪水	(洪水害)										
雷											突風

黄色の時間帯は、注意報級の現象が予想されています。

赤色の時間帯は、警報級の現象が予想されています。

これからの危険度の高まりを即座に把握できる！

※ 平成29年度出水期から気象庁ホームページでの表示を予定しています。

平成28年度取組事例【徳島地方気象台】

29年度からの気象庁ホームページ公開に先駆けて28年度から防災情報提供システムで公開を実施

・早い段階から警報級の現象になる可能性を「高」や「中」でお知らせします ～警報級の可能性～

〇〇県南部の警報級の可能性

イメージ

南部では、4日までの期間内に、暴風、波浪警報を発表する可能性が高い。
また、4日明け方までの期間内に、大雨警報を発表する可能性がある。

今日～明日
・天気予報と合わせて発表
・時間帯を区切って表示

明後日～5日先
・週間天気予報と合わせて発表
・日単位で表示

〇〇県南部		8/3 17:00発表					8/3 17:00発表			
		3日		4日			5日	6日	7日	8日
		明け方まで		朝～夜遅く						
種別	警報級の可能性	18-24	0-6	6-12	12-18	18-24				
大雨	警報級の可能性	中		—			—	—	中	—
暴風	警報級の可能性	—	高			—	中	高	—	
波浪	警報級の可能性	—	高			—	中	高	—	

[高]: 警報発表中、又は、警報を発表するような現象発生の可能性が高い状況。
[中]: [高]ほど可能性が高くはないが、警報を発表するような現象発生可能性がある状況。気象台が発表する今後の情報に留意。

今日～明日

前日の夕方の段階で、必ずしも可能性は高くないものの、夜間～翌日早朝までの間に警報級の大雨となる可能性もあることが分かる！

明後日～5日先

数日先の荒天について可能性を把握することができる！

※ 平成29年度出水期から気象庁ホームページでの表示を予定しています。

平成28年度取組事例【四国地整】

緊急速報メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信

■ 取組

住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォン等を活用したリアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信



洪水情報のプッシュ型配信イメージ

住民の主体的な避難を促進するため、5月1日から、国が管理する那賀川（徳島県阿南市、小松島市）において、携帯電話事業者が提供する緊急速報メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信を開始

■ 配信文案例

① 河川氾濫のおそれ

【見本】

(件名)
河川氾濫のおそれ

(本文)
那賀川の古庄（那賀川橋）付近で水位が上昇し、避難勧告等の目安となる「氾濫危険水位（古庄下流）」に到達しました。堤防が壊れるなどにより浸水のおそれがあります。
防災無線、テレビ等で自治体の情報を確認し、各自安全確保を図るなど適切な防災行動をとってください。
本通知は、四国地方整備局より浸水のおそれのある市町村に配信しており、対象地域周辺においても受信する場合があります。
(国土交通省)

②-I 河川氾濫発生 (河川の水が堤防を越えて流れ出ている時)

【見本】

(件名)
河川氾濫発生

(本文)
那賀川の阿南市〇〇〇〇地先〇〇、〇k（〇岸、〇側）付近で河川の水が堤防を越えて流れ出ている時。
防災無線、テレビ等で自治体の情報を確認し、各自安全確保を図るなど適切な防災行動をとってください。
本通知は、四国地方整備局より浸水のおそれのある市町村に配信しており、対象地域周辺においても受信する場合があります。
(国土交通省)

②-II 河川氾濫発生 (堤防が壊れ、河川の水が大量に溢れ出ている時)

【見本】

(件名)
河川氾濫発生

(本文)
那賀川の阿南市〇〇〇〇地先〇〇、〇k（〇岸、〇側）付近で堤防が壊れ、河川の水が大量に溢れ出ている時。
防災無線、テレビ等で自治体の情報を確認し、各自安全確保を図るなど適切な防災行動をとってください。
本通知は、四国地方整備局より浸水のおそれのある市町村に配信しており、対象地域周辺においても受信する場合があります。
(国土交通省)

■ 配信対象

対象河川	基準観測所	受持区間	配信先
那賀川	古庄（上流） (徳島県阿南市羽ノ浦町)	古庄（上流） 左岸：徳島県阿南市十八女町～阿南市榑根町 右岸：徳島県阿南市加茂町～阿南市吉井町	古庄（上流） 徳島県阿南市、小松島市
	古庄（下流） (徳島県阿南市羽ノ浦町)	古庄（下流） 左岸：徳島県羽ノ浦町～河口 右岸：徳島県阿南市上大野町～河口	古庄（下流） 徳島県阿南市、小松島市

■ 配信する情報

段階	配信情報	配信契機
①	河川氾濫のおそれがある情報	配信対象河川の基準観測所の水位が氾濫危険水位に到達し、氾濫危険情報が発表された時
②-I	氾濫が発生した情報 (※河川の水が堤防を越えて流れ出ている情報)	配信対象河川の基準観測所の受持区間で河川の水が堤防を越えて流れ出る事象が発生し、氾濫発生情報が発表された時
②-II	氾濫が発生した情報 (※堤防が壊れ河川の水が大量に溢れ出ている情報)	配信対象河川の基準観測所の受持区間で堤防が壊れ、河川の水が大量に溢れ出る事象が発生し、氾濫発生情報が発表された時

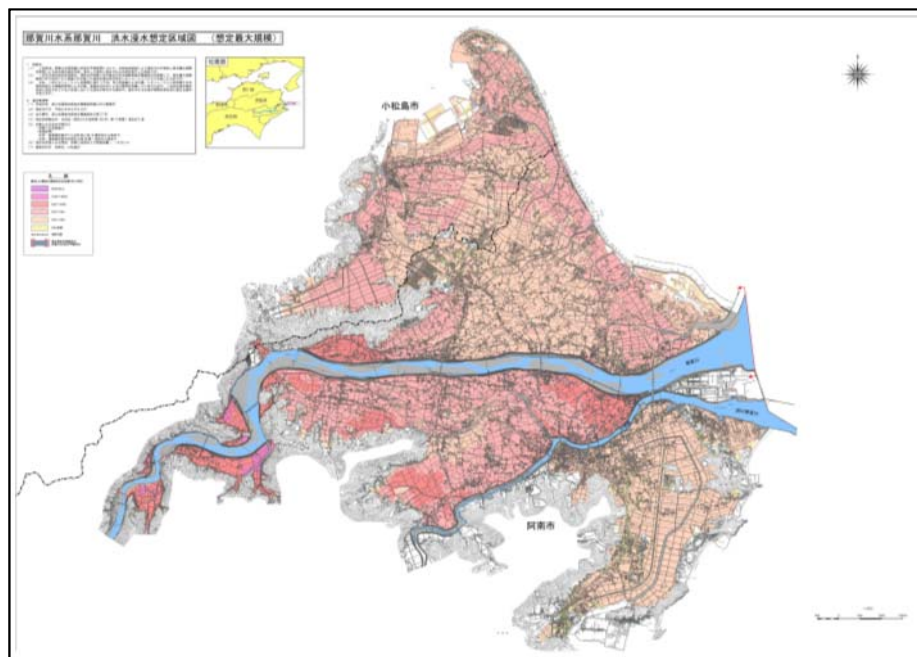
平成28年度取組事例【四国地整】

想定最大規模降雨等による浸水想定・家屋倒壊等氾濫想定

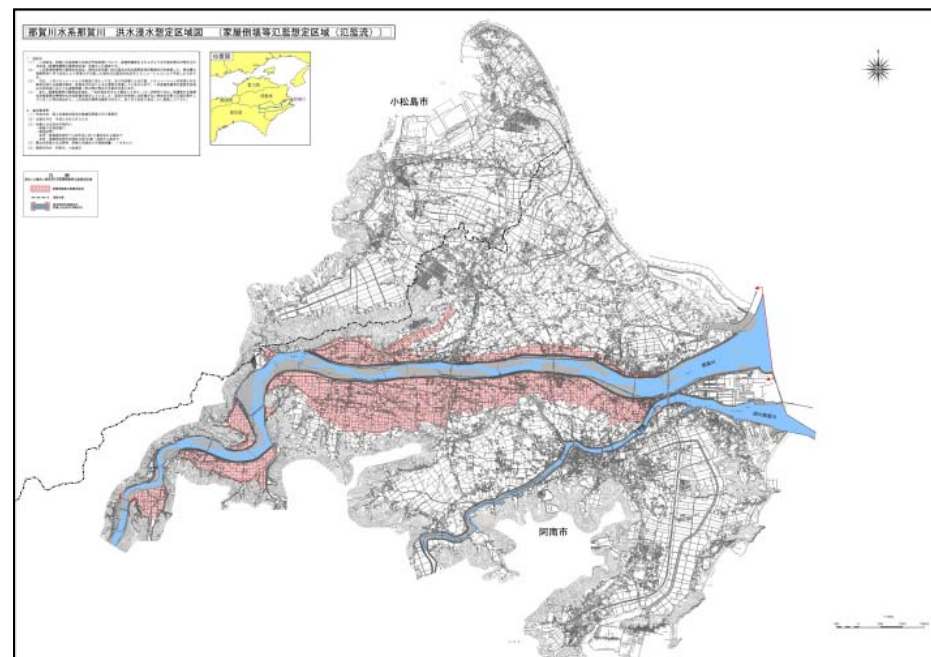
■ 取組

想定最大規模降雨等による洪水を対象とした浸水想定区域の指定及び浸水シミュレーションの公表
想定最大規模降雨による洪水を対象とした家屋倒壊等氾濫想定区域の公表

想定最大規模の降雨により河川が氾濫した場合に想定される浸水区域、水深、浸水継続時間及び家屋倒壊等氾濫想定区域を示すとともに、計画規模の降雨により河川が氾濫した場合に想定される浸水区域、水深を示した浸水行程区域図を公表しました。



■ 那賀川 洪水浸水想定区域図（想定最大規模）



■ 那賀川 洪水浸水想定区域図（家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流））

平成28年度取組事例【四国地整】 加茂地区 床上浸水対策特別緊急事業

■ 取組

堤防整備の実施、浸透等に対する堤防質的強化対策の実施、河道内樹木伐採の実施、河道掘削の実施

■ 平成26年度 台風11号被害状況



加茂谷地区は、那賀川本川に堤防がなく、毎年のように浸水被害を受けており、平成26年度台風11号(戦後最大流量)では床上浸水152戸、床下浸水37戸、翌年7月台風11号でも床上浸水22戸、床下浸水35戸と2年連続で甚大な浸水被害に見舞われました。このような浸水被害を防止するため、平成27年度より緊急的に堤防整備などに着手しており平成31年度の完成を目指しております。

平成28年度は用地買収及び埋蔵文化財調査、低水護岸工事等を実施しています。

■ 完成イメージ



■ 加茂谷川施工状況



■ 埋蔵文化財調査実施状況

